

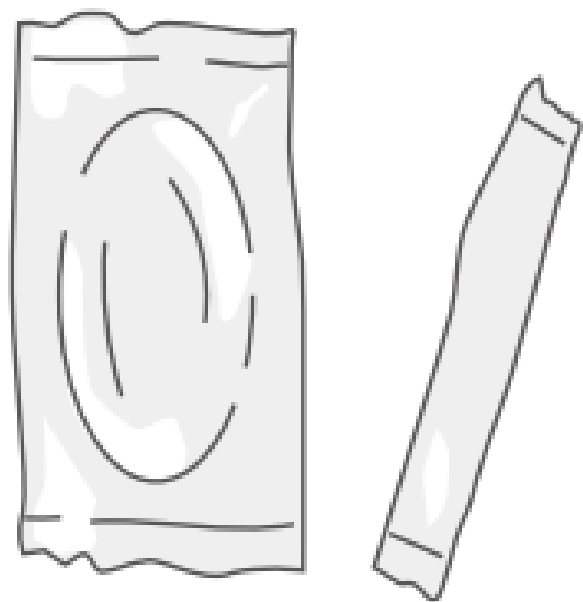
コンドーム法

○特徴

- 天然ゴムやラテックス製のサックによりペニスを覆い、精子が膣内および子宮内に侵入することを阻止することで妊娠を防ぐ方法で、高い避妊効果が得られる。
- 日本で最も多く使用される避妊法
- 性感染症予防具として用いられる

○使用方法

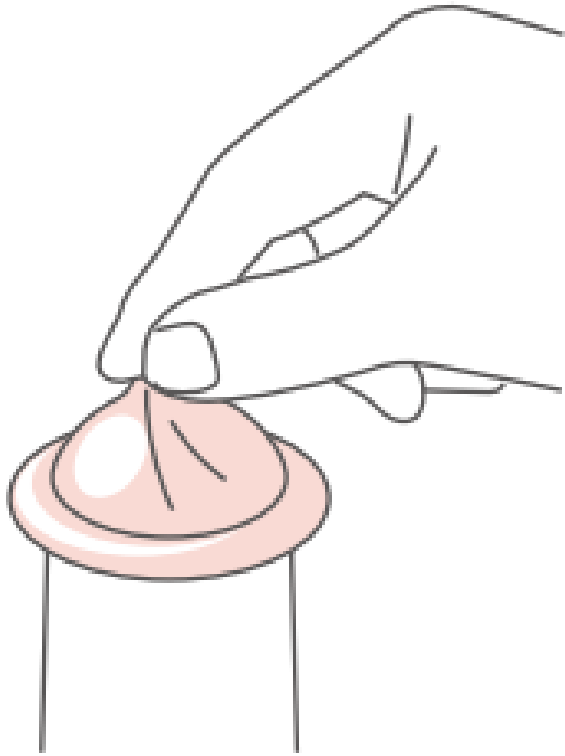
①包装内の端に寄せ、中身を傷つけないように、注意深く包装テープの端を破って取り出す



②巻きあがっている側が外側になるよう装着の向きを確認する



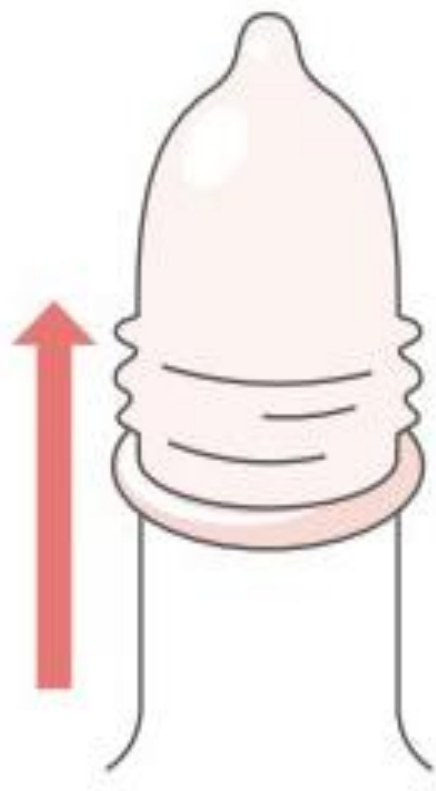
③空気が入ると破れる原因になるため、精液だまりを手で摘んで先端の空気を十分に抜き、勃起した男性器の根本まで被せる



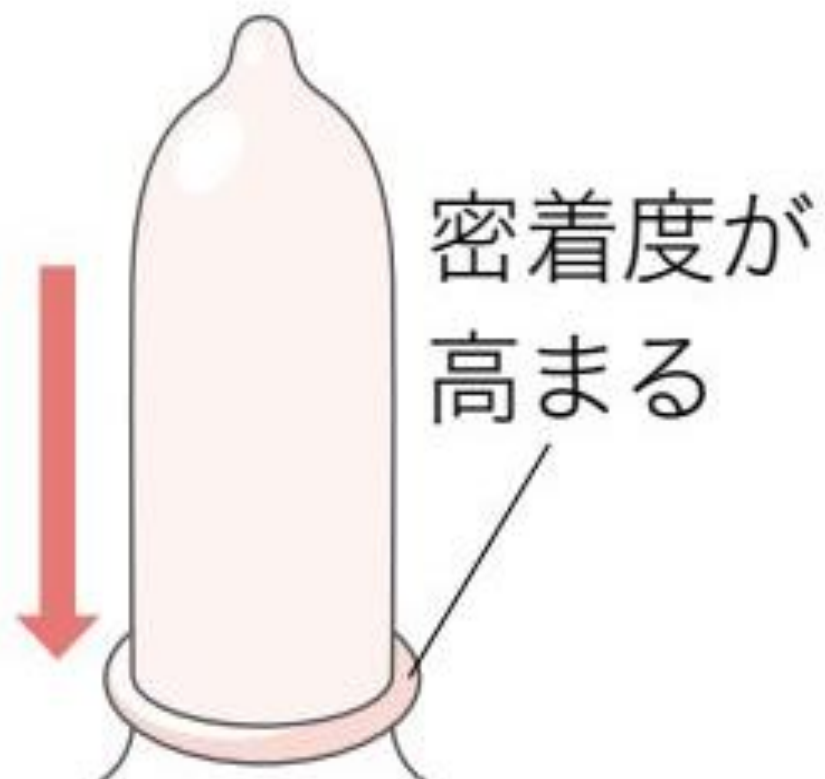
④爪で傷つけないように静かに巻き下ろす



⑤根元に余った男性器の皮と
コンドームを巻き下ろす

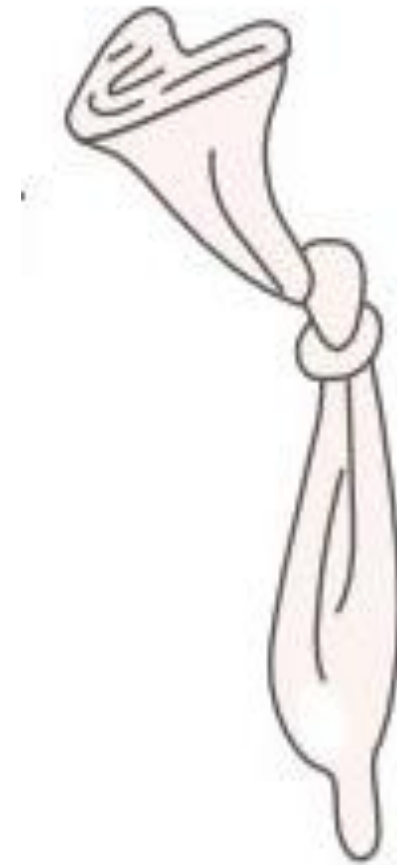


⑥巻き残っているコンドームを根元
まで巻き下ろして装着を完了する



⑦射精後はなるべく速やかにコンドームの端を押さえながら、精液が膣内に漏れないように膣内から静かにペニスとコンドームを抜去する

⑧使用後は目立たないように口を縛って焼却ゴミとする



○長所

- ・ 様々なルートで入手が容易であり、費用が比較的安価である
- ・ 誰にでも容易に使用でき、高い避妊効果が得られる
- ・ 身体に害がなく副作用がない
- ・ 性感染症の予防に効果的である
- ・ 子宮頸がん（HPV感染）予防に効果的である
- ・ 避妊具使用の証が明確である
- ・ 男性が避妊の責任を担える

○短所

- 不適切な装着により避妊に失敗することがある
- 性感が損なわれると感じる場合もある
- 1年間の失敗率が **10%以上** と高い
- アレルギー症状が起こることがある
- 心理的・身体的にバリアが生じる
- パートナー側が非協力的だと使用が難しい

○価格（処置料）



- ・ 3 個入り：900円（オカモト公式ページ参考価格）
- ・ 10～12個入り：1500円
- ・ 20～30個入り：1500～3000円
- ＊ 一般的に1個当たり：50～350円

○留意点

- ・ 一度使用したコンドームは使用しないこと
- ・ 使用前に使用期限を確認すること
- ・ 持ち歩くときは、摩擦で破れる可能性があるため、ハードケースに入れるようにすること
- ・ 直射日光が当たる場所や高温多湿の場所で保管することは避けること



- ・ 各メーカーの説明書にある使用方法よく読んで使用すること
- ・ 装着方法によっては外れたり、破れたりする可能性がある
ので、使用者が適切に装着方法を理解し実践すること

○禁忌

●天然ラテックスゴムアレルギー

→アレルギーがある場合はポリウレタン製などのコンドームを使用する

●油性潤滑剤との併用

→ワセリン、ベビーオイル、マッサージオイル、ハンドクリームなどの油性成分はゴムを劣化させ、破れやすくする
潤滑剤が必要な場合は水溶性のものを選択する



○引用・参考文献

- 助産診断・技術学Ⅱ〔2〕 2026年版 P.298
- 助産診断・技術学Ⅰ 2026年版 P.340
- 助産師基礎教育テキスト 2026年版 第6巻 P.130,131
- 助産師基礎教育テキスト 2026年版 第2巻 P.292~295
- 周産期ケアマニュアル 第4版 P.244,245